

デッドストック品を活用した展示・販売の取組事例

- 本来廃棄されるデッドストック品を再流通させることで高品質な地域製品の普及だけでなく、地域の織物企業と消費者を結ぶ接点としても機能

RRR Material Project (株式会社リテイル) における事例

取組概要

デッドストック品を活用した展示・販売“RRR Material Project”

- 普段は流通しないサンプルやデッドストック等の素材から、価値あるものをセレクトして展示&販売し、クリエイティブに活かす活動
- 2014年に複数繊維企業が合同で開催したファッションイベントで、3年目の2016年には常設化（ショップをオープン）
- 尾州で発生するデッドストック品は年間約3万着と推計され、同社ではうち1,000着程度を取り扱う



効果

- 2014年のイベントでは、一日で**1,300人**の来場者数を記録
- 同プロジェクトにより生地に興味を持つ若者が、地元織物企業との接点を持ち、入社のかきかけとなるコミュニティ環境を構築

会社名



株式会社リテイル

設立年

2016年2月

売上高

約2,400万円
(2019年度)

企業概要

- 2014,2015年に開催された「RRR MATERIAL PROJECT」を基盤に繊維企業各社の協力により運営される繊維製品小売/不動産会社
- 繊維を主軸にファッションやデザインなど創造的なテナントやアトリエ、展示やイベント等を開催・提供